



学校便り 第8号
R5.9.2発行

丘のなかま

ひたちなか市立堀口小学校
住所：ひたちなか市堀口588
電話：029-272-2866

市誕生30周年

30th Anniversary



ひとが城(まち)
ひたちなか

前期「後半」がスタートしました!!

子供たちと再会できるのを首を長くして待っていた先生たちは、前日から教室で様々な準備(掃除、課題提出BOXの設置など)を嬉しそうに行っていました。9月2日(月)は、朝早くから教室に出向き、窓を開け、エアコンを付け、ワクワクした気持ちで子供たちが登校してくるのを待っていました。登校時間になると、立哨場所や昇降口で、子供たちの元気な「おはようございます」のあいさつの声が響いていました。朝の全校放送では、校長先生から、前期後半スタートに向けた【3つのお願い】(①学校生活のリズムを取り戻す。②めあてをもち、様々なことにChallengeする。③感謝の気持ち・思いやりの心をもって、様々な人と交流する。)と、前期「後半」の学校生活を送れるよう強く願っているというお話がありました。放送集会中の子供たちは、しっかり“聴く”ことを意識しており、これまでの堀口小の生活に一人一人が戻ろうとしていることが実感できました。初日は給食なしの午前中授業でしたが、休憩時間には、子供たちは久しぶりに再会したクラスのお友達や担任の先生と、おしゃべりを楽しんでいました。

学校生活が再開しました。子供たちは、長期の休みを終え、何か困ったことや悩みがでたかもしれません。担任に直接相談できない場合は、本校の【おしゃべりBOX】(電子版:タブレットや相談箱:保健室脇に設置)を活用してほしいと思っています。



9月2日(月)の教室の黒板(抜粋)より

『自殺予防週間』 9月10日~16日

長期の休みが終わることで、様々な不安や悩みを抱えてしまう子供たちが全国的にいると言われています。そうした不安や悩みは、誰にでも起こりうることです。その悩みを一人で抱え込ませたくないと思っています。保護者の皆様へ、お願いです。お子様に、以下のような様子が見られた場合は、私たち教職員にご相談ください。一緒に、解決していきたいと考えております。また、学校生活においても、これまでの様子と異なり、違和感等を感じた場合は、ご家庭に連絡させていただくことがありますので、よろしく願いいたします。子供たちが発している「サインを」見逃さないようにしていきたいと思っています。

- * これまで関心のあったことに、興味を失っている。
- * 勉強やテストの結果に不安を感じている。
- * 注意力が散漫になっている。
- * 身なりや持ち物などに関心がなくなる。
- * 健康管理や自己管理(時間・宿題など)が疎かになる。
- * 眠れていない、食欲がない、急にやせたなど体調の不調を訴える。



7月20日(土) ～堀小おやじの夏祭り～レッツ水遊び2024～

堀口小学校親父の会の企画による「夏イベント」が、今年度も開催されました。当日は猛烈な暑さでしたが、約150人の児童が参加し、親父の会オリジナルのイベント(水風船玉入れ、水鉄砲バトル、バケツリレーなど)や火起こし体験、かき氷とBBQ等で楽しんでいました。当日はたくさんの笑顔が溢れていました。親父の会の皆様、OBの皆様には、企画・準備・運営・片付け等で、大変お世話になりました。有り難うございました。



当日の様子は、こちらからも確認できます。(親父の会ブログ) ⇒ https://blog.goo.ne.jp/horisho_oyaji

8月5日(月) オンラインHR ～元気な姿・学習の進捗状況を確認～

昨年度に引き続き、夏休みの生活や学習の経過報告や、宿題に関する質問や相談を受け付けることねらいとして、オンライン・ホームルームを実施いたしました。先生たちは終始笑顔で、子供たちとのやり取りを楽しんでいました。



8月7日(水) 市誕生30周年記念「笑顔サミット」

今年度の「笑顔サミット」は、市誕生30周年を記念した内容で開催し、児童生徒が「未来のひたちなか市」について意見交流しました。夏休み前には、事前の研修会も実施され、シビックプライドについて学びました。当日は、5,6年生の3名が、しあわせプラザ(全体会)・那珂湊コミュニティーセンター(分科会)に出向き、本校代表として意見を述べてきました。このサミットに向けて、堀口小学校では、1年生から6年生が各学級で話し合ったことを伝えるために、事前に意見を取りまとめていました。これは、他校ではない取組だったようで、他校の先生から、「堀口小は、全校児童の意見をしっかり集約してきたんですね!」「素晴らしいアイデアですね。」と褒めていただけました。



職員研修 【1】児童理解、【2】心肺蘇生・AED

【1】2年生以上の全児童が実施している「QUアンケート」に関する研修です。この研修の目的は、①児童理解(学級集団における児童一人一人の理解)、②校内連携の促進(児童の支援について全職員が連携できるように)、③校内支援体制づくり(令和6年度の支援サイクルと支援体制の確立のに向けて)の3点です。今年度も、市教育研究所の学級経営アドバイザーの埴先生を講師に招き、実施しました。



【2】心肺蘇生・AED研修は、「有事の際には躊躇なく迅速に対応できること」「学校管理課における心臓突然死の事故を防止すること」を目的とし、毎年実施することで、知識・技能をブラッシュアップしています。今年度は、今年度は、オンライン(県内小・中・義務教育・高)による研修に参加し、救急救命の専門医師から学びました。

